

令和7年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール 入賞作品

最優秀賞 4点

小学生低学年の部



和歌山市立名草小学校
3年生 嶋 康勝

今、仕事をしている人たちは男も女も関係なく働いている人が多いと思います。それに、今は外国から来て働いている人も多いと思います。ぼくは、前に、お父さんとお兄ちゃん、妹とお母さんの誕生日に花屋さんへ行って花束を買いに行くと、男の人がとってもキレイに作ってくれました。ぼくの中で、花屋さんは、「女の人」という考えが残っていたかもしれない。けれど、色々な仕事も、今は自分からえらべる時代になっています。ぼくも大きくなったら、自分がやりたい仕事を見つけないです。

小学生高学年の部



和歌山大学教育学部附属小学校
4年生 小島 桐吾

性別に関係なく、みんなが自分らしく夢を持って生きられる未来を表現しました。標語には、多様な考え方があっていいという思いをこめました。誰もが自分のやりたいことに向かって進める未来にしていきたいです。

中学生の部



和歌山市立西脇中学校
1年生 前田 花凜

自分らしい、自分のやりたいことをやっていいという思いで描きました。

高校生の部



和歌山県立和歌山商業高等学校
1年生 満田 流雅

男性がはたらき、女性は家で家事というイメージが未だにのこり続けているので、性別も関係なく、好きな仕事で、活躍のできる社会に変わって欲しいと思いました。